

SSHまたはTelnetを使用したCisco Business 350シリーズスイッチCLIへのアクセス

目的

Cisco Small Business マネージドスイッチは、コマンドラインインターフェイス(CLI)からリモートアクセスおよび設定できます。CLIにアクセスすると、端末ベースのウィンドウにコマンドを入力できます。Webベースのユーティリティではなく、CLIを使用してスイッチでterminalコマンドを使用して設定する場合は、より簡単な方法です。レイヤ3モードの有効化などの特定のタスクは、CLIからのみ実行できます。

スイッチのCLIにリモートアクセスするには、SSHまたはTelnetクライアントを使用する必要があります。スイッチにリモートからアクセスする前に、まずスイッチでTelnetおよびSSHサービスを有効にする必要があります。

注：スイッチでTransmission Control Protocol (TCP； 伝送制御プロトコル) とUser Datagram Protocol (UDP； ユーザデータグラムプロトコル) の設定を構成する方法については、[ここをクリックしてください](#)。

この記事では、次のクライアントを使用して、SSHまたはTelnetを介してスイッチのCLIにアクセスする方法について説明します。

- PuTTY：標準のTelnetおよびSSHクライアント。ここでインストーラをダウンロードし、Windowsコンピュータにインストールできます。
- ターミナル：すべてのMac OS Xコンピュータにプリインストールされているアプリケーション。シェルまたはコンソールとも呼ばれます。

重要：スイッチにSSHまたはTelnet接続する前に、スイッチのIPアドレスを設定する必要があります。手順については[ここ](#)をクリックしてください。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- CBS250 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

SSHを介してスイッチのCLIにアクセスします

スイッチで設定されたアイドル時間が経過すると、SSHセッションは自動的に切断されます。SSHのデフォルトのアイドルセッションタイムアウトは10分です。

スイッチにSSH接続するには、プラットフォームを選択します。

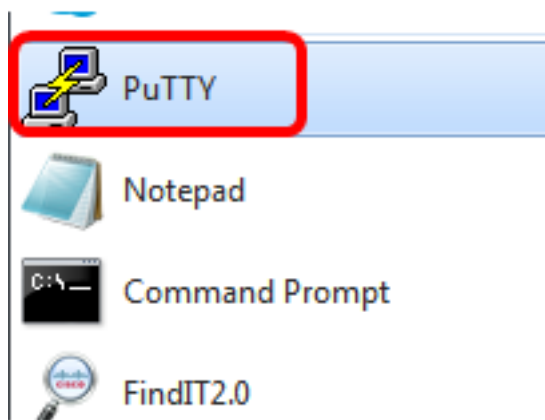
[PuTTYを使用するWindowsコンピュータ](#)

[ターミナルを使用するMacコンピュータ](#)

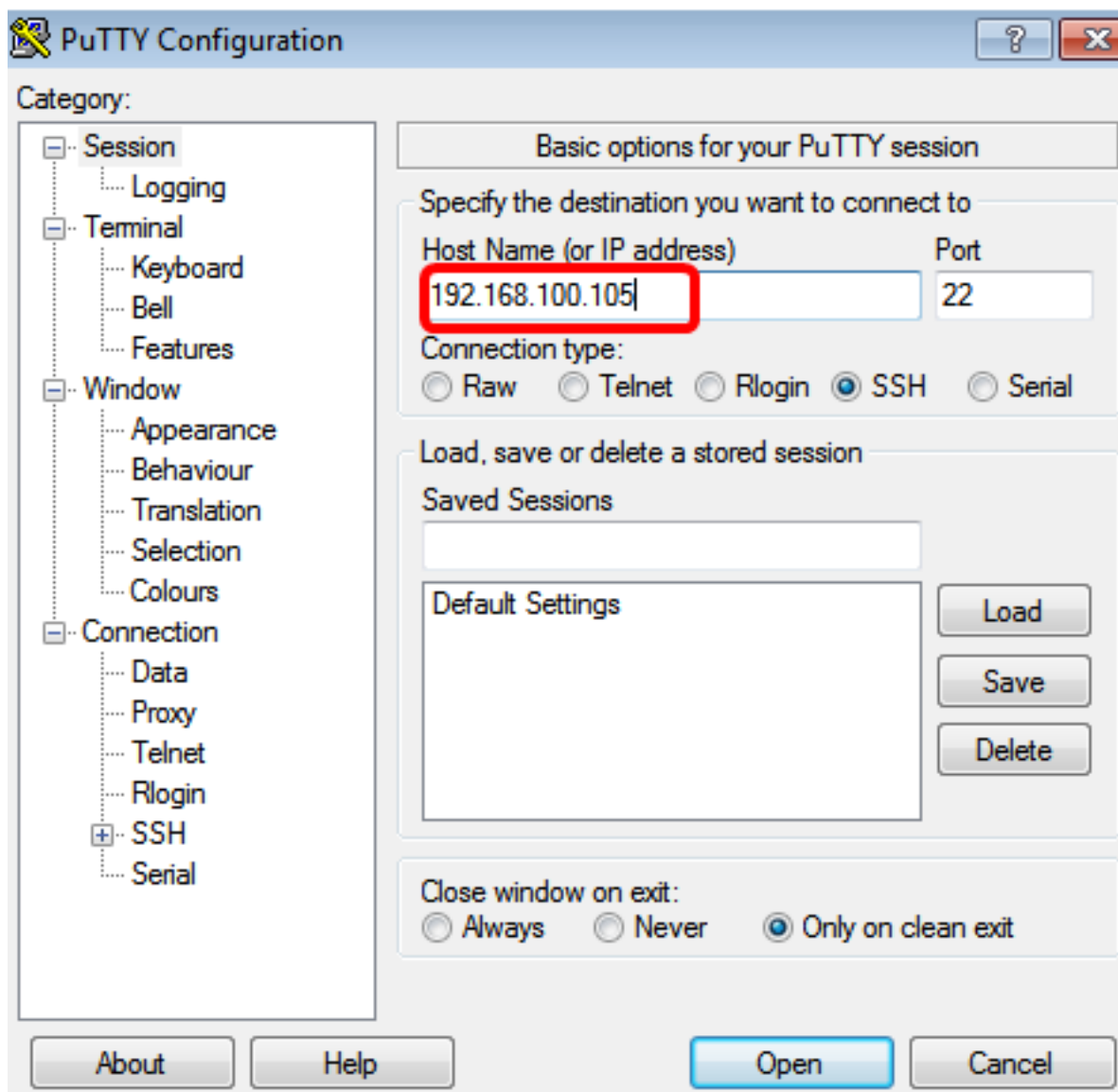
[PuTTYを使用してSSH経由でCLIにアクセスします](#)

注：イメージは、使用しているWindowsオペレーティングシステムのバージョンによって異なります。この例では、Windows 7 Ultimateが使用され、PuTTYバージョンは0.63です。

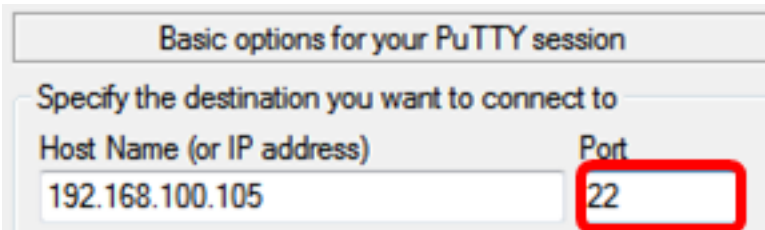
ステップ1：コンピュータでPuTTYクライアントを起動します。



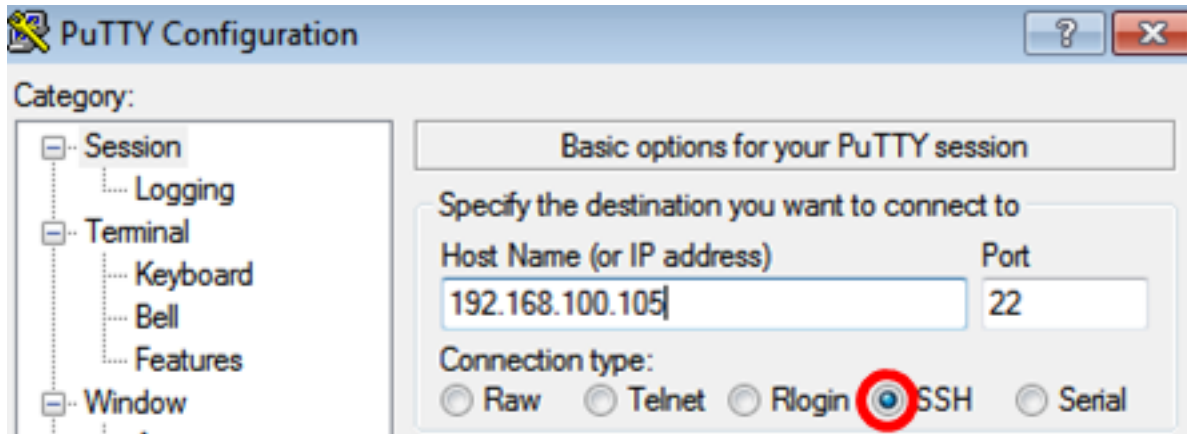
ステップ2：リモートからアクセスするスイッチのホスト名またはIPアドレスを[ホスト名 (またはIPアドレス)]フィールドに入力します。



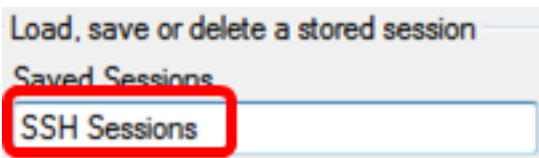
ステップ3:[Port]フィールドに、SSHセッションに使用するポート番号として22を入力します。



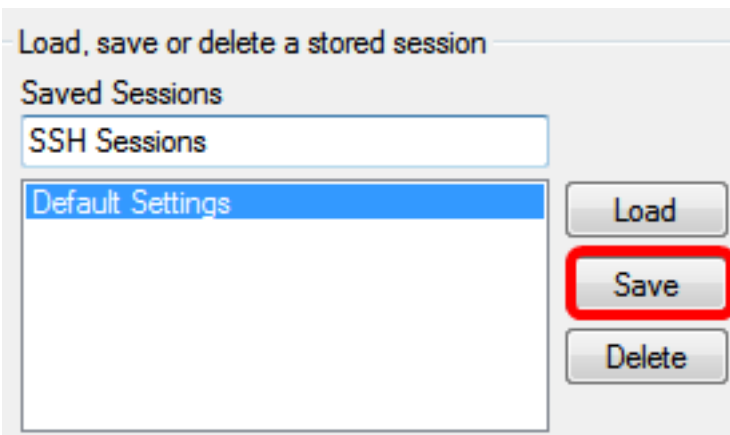
ステップ4:[Connection type]領域で[SSH]オプションボタンをクリックし、スイッチとの接続方法として[SSH]を選択します。



ステップ5: (オプション) セッションを保存するには、[Saved Sessions]フィールドにセッション名を入力します。



ステップ6:[Save]をクリックしてセッションを保存します。

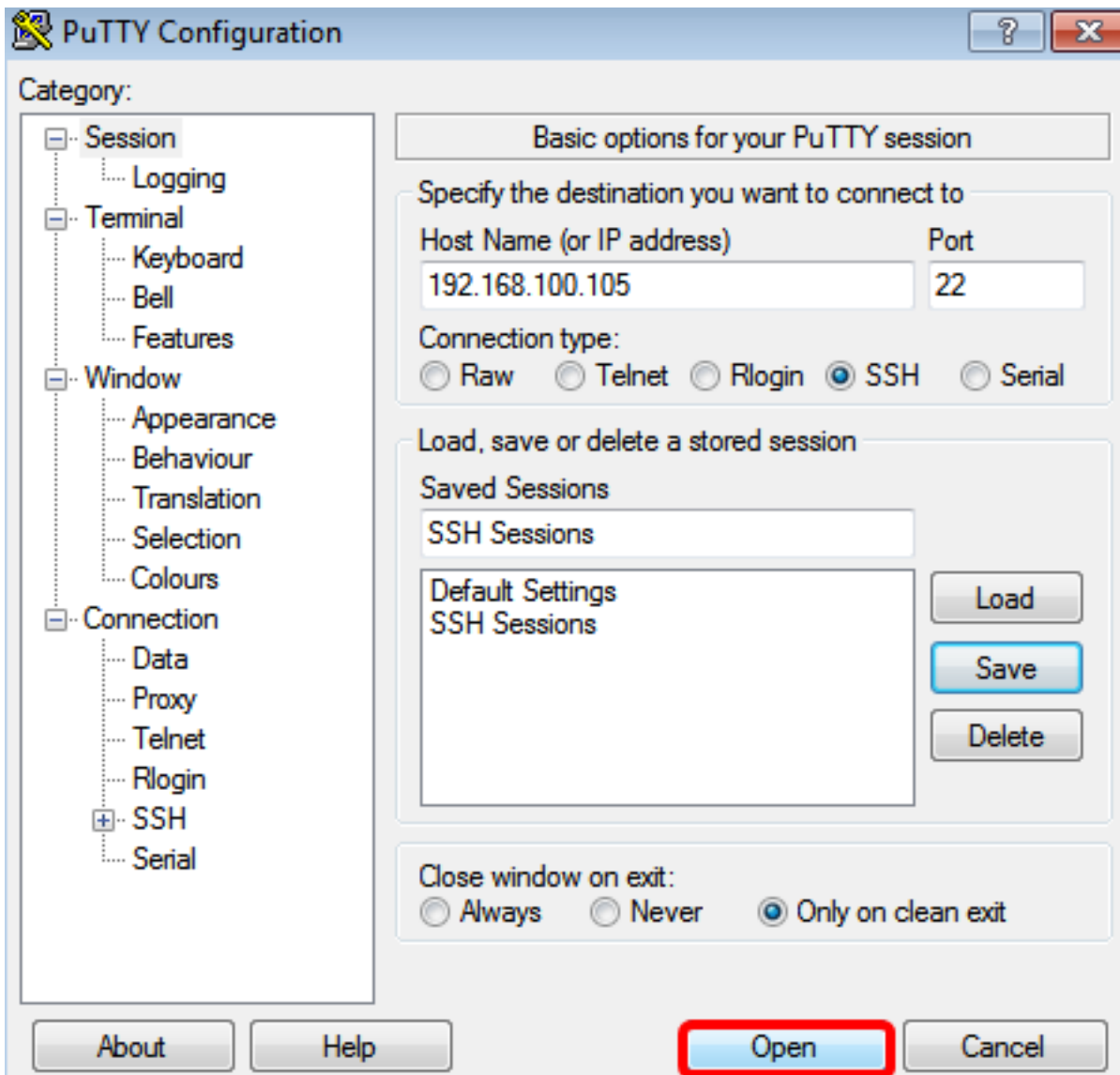


ステップ7: (オプション) 終了領域の[Close]ウィンドウで、オプションボタンをクリックして、終了時のSSHウィンドウの動作を選択します。



注 : この例では、[Only on clean exit]が選択されています。

ステップ8:[Open]をクリックしてセッションを開始します。



ステップ9:SSHを使用してスイッチに接続するのが初めての場合、セキュリティ違反の警告が表示されることがあります。この警告により、スイッチを装った別のコンピュータに接続している可能性があることが分かります。ステップ4で[Host Name]フィールドに正しいIPアドレスを入力したことを確認したら、[Yes]をクリックしてRivest Shamir Adleman 2(RSA2)キーを更新し、新しいスイッチを追加します。



The server's host key is not cached in the registry. You have no guarantee that the server is the computer you think it is.

The server's rsa2 key fingerprint is:

ssh-rsa 1024 6f:7d:af:33:11:8c:b1:8b:15:3f:b1:ed:45:b9:46:63

If you trust this host, hit Yes to add the key to PuTTY's cache and carry on connecting.

If you want to carry on connecting just once, without adding the key to the cache, hit No.

If you do not trust this host, hit Cancel to abandon the connection.

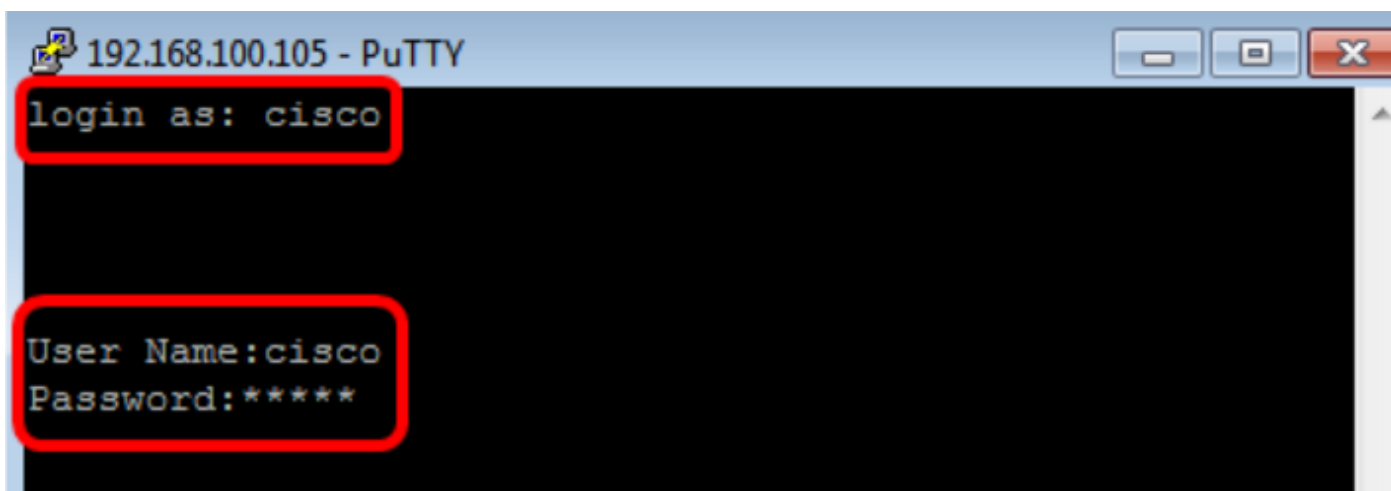
Yes

No

Cancel

Help

ステップ10 : ログインに使用するスイッチのユーザ名とパスワードを入力します。これに応じて、[User Name]と[Password]フィールドには入力します。



これで、PuTTYを使用してSSHを介してスイッチのCLIに正常にリモートアクセスできました。

ターミナルを使用したSSHによるCLIへのアクセス

注：イメージは、使用しているMacコンピュータのオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。この例では、macOS Sierraが使用され、ターミナルバージョンは2.7.1です。

ステップ1:[Applications] > [Utilities]に移動し、Terminal.appアプリケーションを起動します。



ステップ2:sshコマンドを入力してから、スイッチのCLIにアクセスするためのIPアドレスを入力します。

```
Cisco: ~Cisco$ ssh [ip-address]
```

```
Cisco — ssh 192.168.100.105 — 81x24
```

```
Last login: Thu Jun 15 11:10:09 on ttys001
Cisco:~ Cisco$ ssh 192.168.100.105
The authenticity of host '192.168.100.105 (192.168.100.105)' can't be established.
RSA key fingerprint is SHA256:Uhbwk5NQ7f/LOIJnH/PaX3/UuYSy8B6zawW5c7jkM1Y.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?
```

注：この例では、192.168.100.105です。

ステップ3：接続を続行するかどうかを確認するメッセージが表示されたら、「Yes」と入力します。

```
Cisco — ssh 192.168.100.105 — 83x24
```

```
Last login: Thu Jun 15 11:10:09 on ttys001
Cisco:~ Cisco$ ssh 192.168.100.105
The authenticity of host '192.168.100.105 (192.168.100.105)' can't be established.
RSA key fingerprint is SHA256:Uhbwk5NQ7f/LOIJnH/PaX3/UuYSy8B6zawW5c7jkM1Y.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no) yes
```

ステップ4:[User Name]フィールドと[Password]フィールドに、スイッチのユーザ名とパスワードを適宜入力します。

```
Cisco — ssh 192.168.100.105 — 83x24
```

```
Last login: Thu Jun 15 11:10:09 on ttys001
Cisco:~ Cisco$ ssh 192.168.100.105
The authenticity of host '192.168.100.105 (192.168.100.105)' can't be established.
RSA key fingerprint is SHA256:Uhbwk5NQ7f/LOIJnH/PaX3/UuYSy8B6zawW5c7jkM1Y.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes
Warning: Permanently added '192.168.100.105' (RSA) to the list of known hosts.

User Name:cisco
Password:*****
```

これで、ターミナルを使用してSSHを介してスイッチのCLIに正常にリモートアクセスできたは

ずです。

Telnet経由でスイッチのCLIにアクセスします

スイッチで設定されたアイドル時間が経過すると、Telnetセッションは自動的に切断されます。Telnetのデフォルトのアイドルセッションタイムアウトは10分です。

スイッチにTelnet接続するには、プラットフォームを選択します。

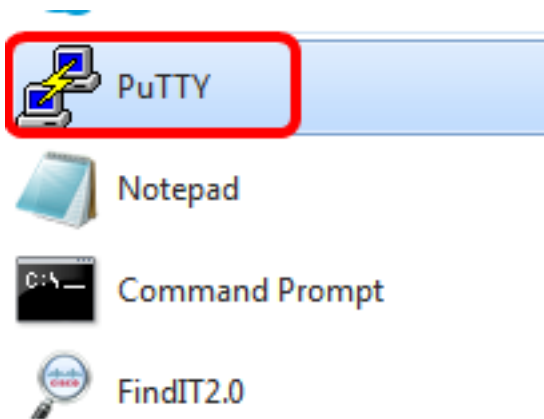
[PuTTYを使用するWindowsコンピュータ](#)

[ターミナルを使用するMacコンピュータ](#)

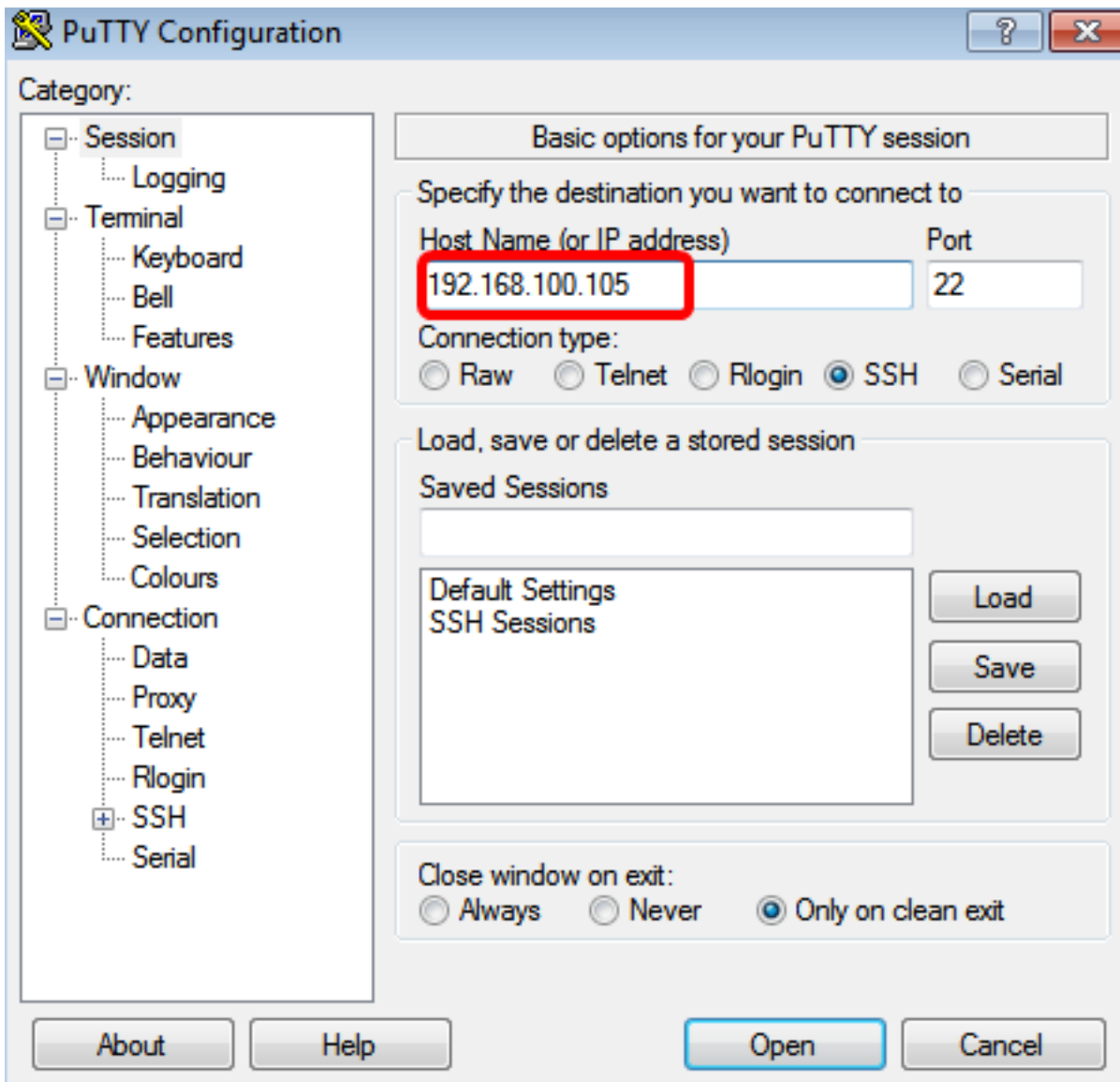
[PuTTYを使用してTelnet経由でCLIにアクセスします](#)

注：イメージは、使用しているWindowsオペレーティングシステムのバージョンによって異なります。この例では、Windows 7 Ultimateが使用され、PuTTYバージョンは0.63です。

ステップ1：コンピュータでPuTTYクライアントを起動します。

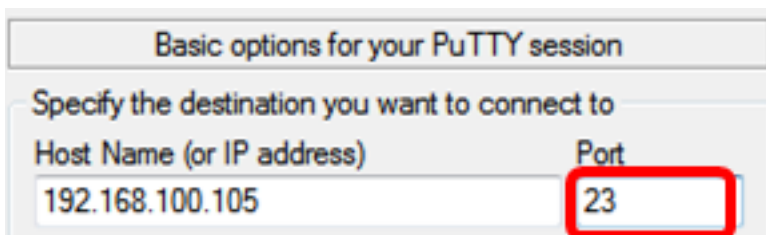


ステップ2：リモートからアクセスするスイッチのホスト名またはIPアドレスを[ホスト名 (またはIPアドレス)]フィールドに入力します。

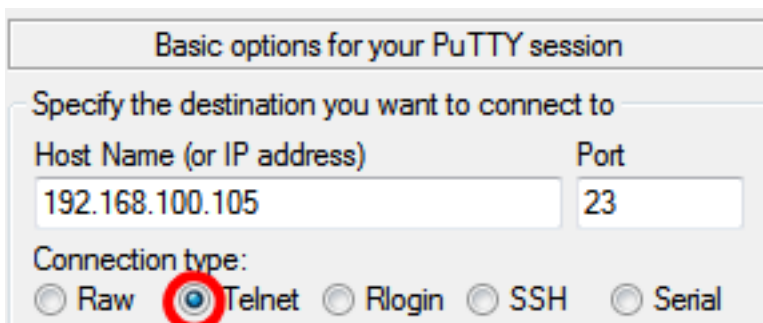


注：この例では、192.168.100.105 が使用されます。

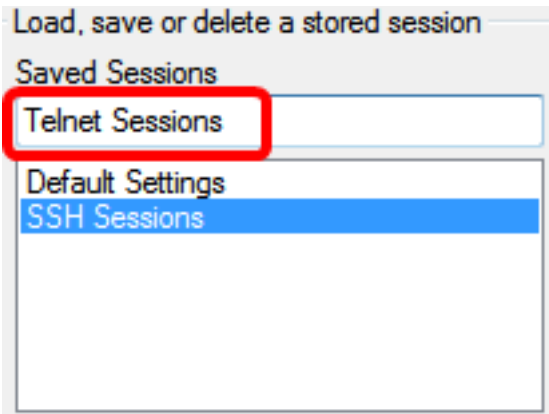
ステップ3:[Port]フィールドにTelnetセッションに使用するポート番号として23を入力します。



ステップ4:[Connection type]領域で[Telnet]オプションボタンをクリックし、スイッチとの接続方法として[Telnet]を選択します。

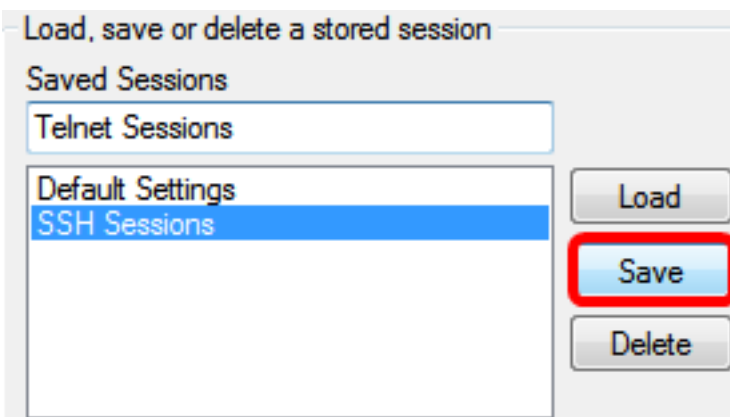


ステップ5: (オプション) セッションを保存するには、[Saved Sessions]フィールドにセッション名を入力します。

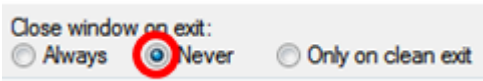


注：この例では、Telnetセッションが使用されています。

ステップ6:[Save]をクリックしてセッションを保存します。

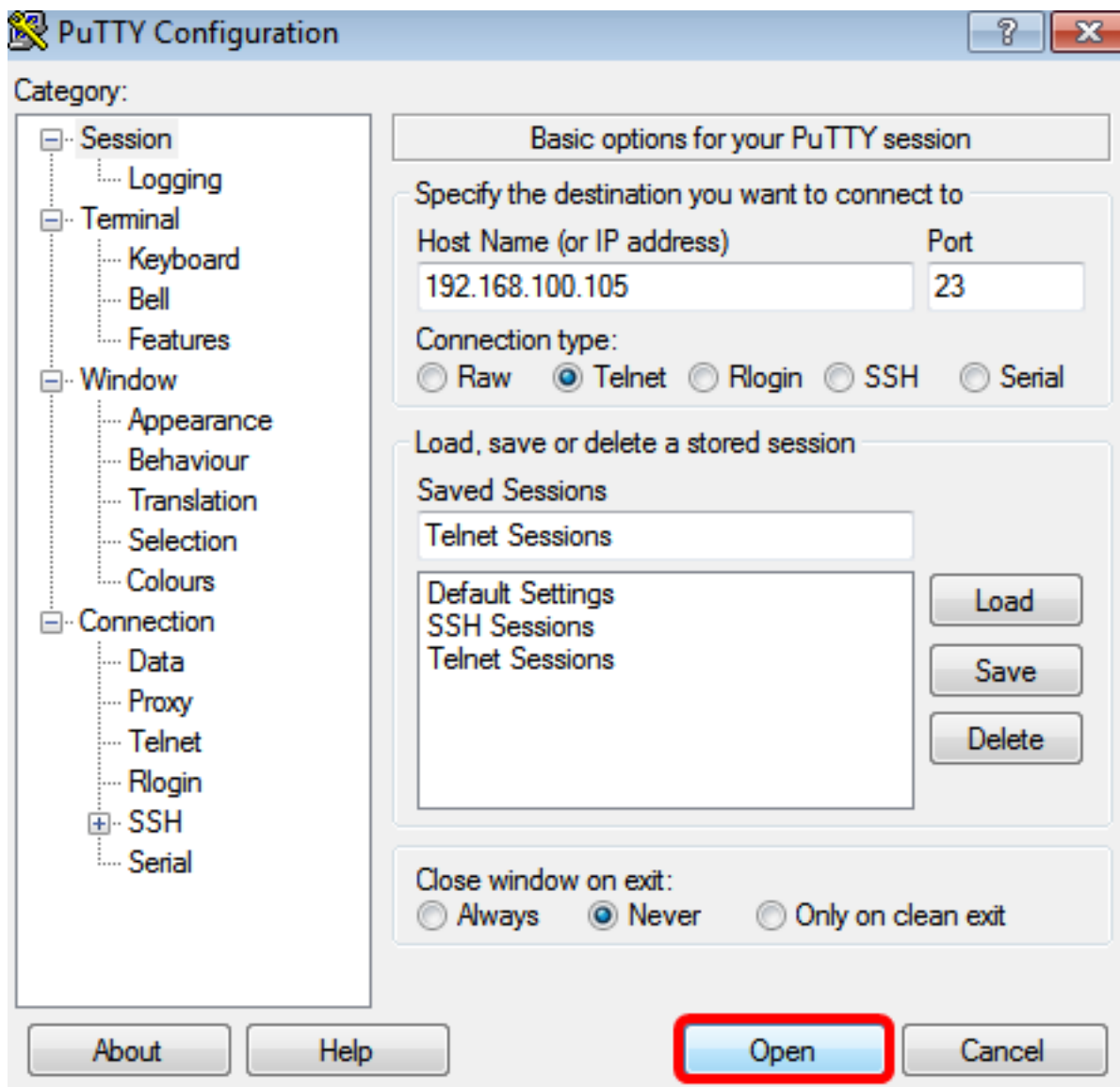


ステップ7：オプション)終了エリアの閉じるウィンドウで、オプションボタンをクリックして、終了時のSSHウィンドウの動作を選択します。

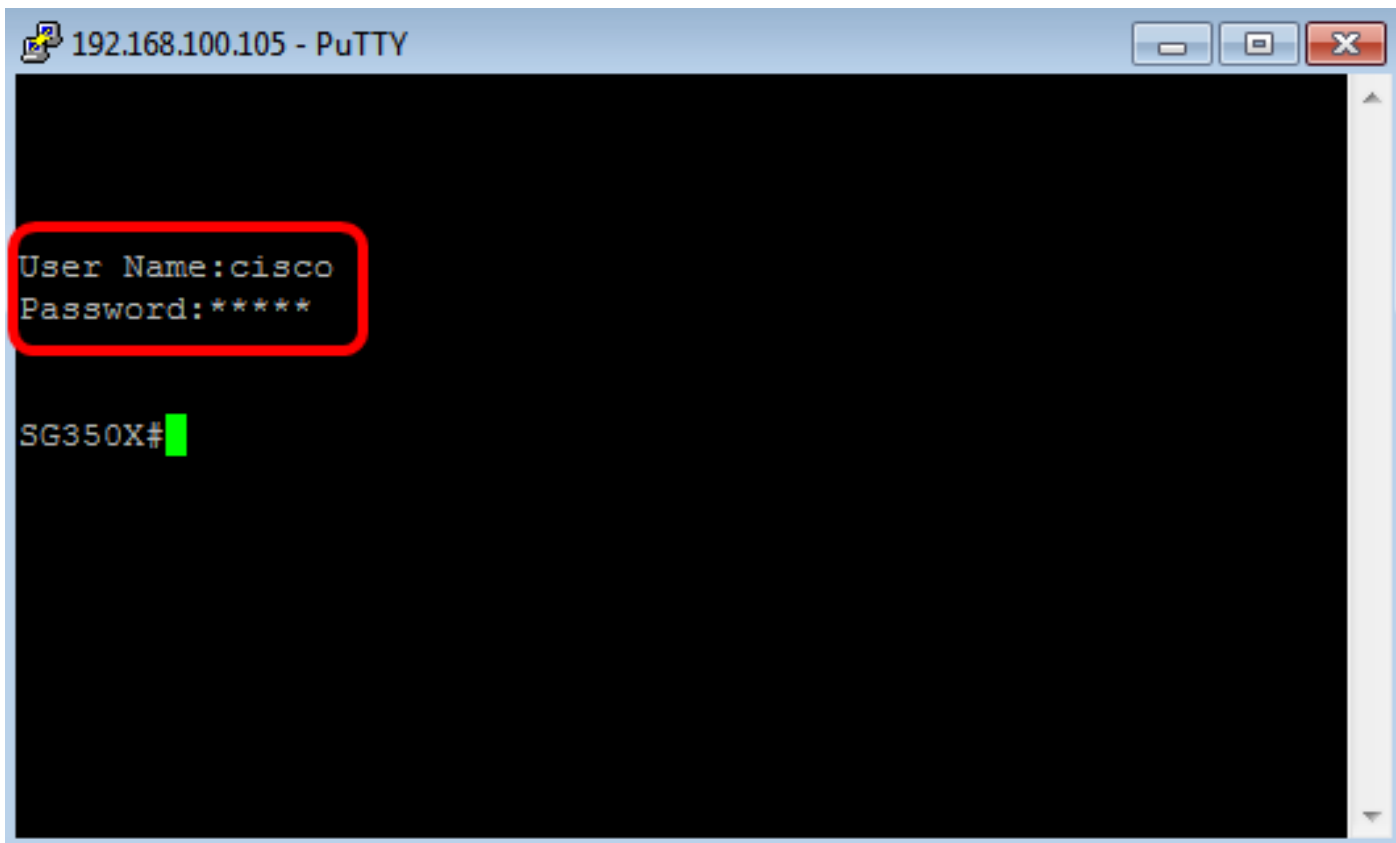


注：この例では、[Never]が選択されています。

ステップ8:[Open]をクリックしてセッションを開始します。



ステップ9 : ログイン時にスイッチのユーザ名とパスワードを入力します。[ユーザ名]フィールドと[パスワード]フィールドに応じて入力します。



これで、PuTTYを使用したTelnetを介して、スイッチのCLIに正常にリモートアクセスできました。

ターミナルを使用してTelnet経由でCLIにアクセスします

注：イメージは、使用しているMacコンピュータのオペレーティングシステムのバージョンによって異なる場合があります。この例では、macOS Sierraが使用され、ターミナルバージョンは2.7.1です。

ステップ1:[Applications] > [Utilities]に移動し、Terminal.appアプリケーションを起動します。



ステップ2:telnetコマンドを入力し、次にIPアドレスを入力して、スイッチのCLIにアクセスします。

```
Cisco: ~Cisco$ telnet [ip-address]
```

```
Cisco — telnet 192.168.100.105 — 66x21
Last login: Fri Jun 16 08:15:06 on console
Cisco:~ Cisco$ telnet 192.168.100.105
Trying 192.168.100.105...
Connected to 192.168.100.105.
Escape character is '^]'.

User Name: █
```

ステップ3:[User Name]フィールドと[Password]フィールドに、スイッチのユーザ名とパスワードを適宜入力します。

```
Last login: Fri Jun 16 08:15:06 on console
Cisco:~ Cisco$ telnet 192.168.100.105
Trying 192.168.100.105...
Connected to 192.168.100.105.
Escape character is '^]'.

User Name:cisco
Password:*****
```

これで、ターミナルを使用したTelnetを介してスイッチのCLIに正常にリモートアクセスできたはずですが。